

1 本園の教育目標

やさしくたくましい子ども

・心身ともにいきいきとした子ども ・自ら遊びをつくりだす子ども ・自分も友達も大切にする子ども

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

『健康な体作りについて考える』

～食育や運動遊びを通して意欲的に取り組む子供を育てる～

3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
食育	B	食材に興味関心が持てるように、野菜栽培を計画した。実際に栽培し収穫したものを料理して食べることで、食べてみようという意欲に繋がってきた。食育だよりを発行し保護者にも発信した。
教員の資質向上	B	様々な分野の研修に積極的に受講し、職員で共有することで、保育の見直しに繋がったが保育に十分活かしきれないことがあった。計画的に取り入れていく。
保育の充実	A	日々の保育の打合せや反省を丁寧に行い、子供の姿から新しい取り組みを計画した。保育の充実につながり子供の成長や体づくりにつながった。

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	園児数が少ない事で、一人ひとり個々に応じた関わりができることで、子供自身が向上心をもって取組む姿勢に繋がった。 これからも、幼児理解を深め、職員で共通理解を図りながら日々の保育を進めていきたい。

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
特別支援教育の充実	個々の子供の姿や育ちについて丁寧にとらえ、関係機関との連携や保護者との共通理解を図りながら、職員全員でより充実した支援体制を考え、推進する。
保幼小中の交流	近隣の保育園や幼稚園との日常的な交流を積極的に取り組んだり、中学校ブロックでの園児や教師が交流できるように計画し発信することで、連携へと繋げる一歩を踏み出せるようにする。
未就園児事業の充実	2、3歳児教室の充実、園庭開放の実施などを行い、地域の未就園児親子が幼稚園に気軽に来ることができるよう場にする。0歳児教室も開催する。

◎3.4. の評価結果の表示方法

A十分達成されている B達成されている C取り組まれているが成果は十分でない D取組が不十分である